

日 時：平成 30 年 11 月 1 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：克雪管理センター

対象地区：切明・葛川・平六・温川・井戸沢・大木平・一本木

参加人数：21 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○防災モニタでのテレビの視聴について</p> <p>（市民から）</p> <p>この地区において、集会施設の防災モニタでテレビを見るためには、共同アンテナの設置が必要となり費用がかかる。テレビを見られる設備を追加してほしい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・ほかの地区の集会所でも、防災モニタでテレビを見ることはできない。あくまでも市からの情報を受信するためのものなので、ご了承いただきたい。
<p>○沢の整備について</p> <p>（市民から）</p> <p>神明宮の陰の沢に土砂がよく流れているため危ない。市では対応ができないとのことであつたので、国や県に働きかけるなどして対応してもらえないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・県の治山事業を活用し、工事実施等ができないか検討する必要がある。市では現場確認をする。
<p>○捨て猫の対応について</p> <p>（市民から）</p> <p>車を傷つけられるなど捨て猫被害にあつて苦労している。エサをあげている人もいるようだ。市で何らかの対応をしてもらえないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・市では飼い猫については対応できるが、捨て猫の対応は難しい。県の動物愛護センターに相談してみる。
<p>○U字溝の補修について</p> <p>（市民から）</p> <p>農協の裏の通りにあるU字溝が壊れているため直してもらいたい。冬に凍結防止のために水を流すよう市に指導を受けている箇所でもある。</p>

(市から)

- ・現場確認をする。

○砂防ダムについて

(市民から)

旧イワナの村の上流付近および葛川から切明に向かう途中にある沢の砂防ダムが土砂で満杯になっているため、洪水の際、機能するか不安である。かさ上げなどをしてもらえるよう国や県に要望してほしい。

(市から)

- ・現場確認をしたうえで、県への働きかけを行う。

○冬期間のドクターヘリの着陸場所について

(市民から)

冬期間、東部地区でのドクターヘリの着陸場所が定まっていない。学校跡地などを除雪するなどして、場所を固定することはできないのか。

(市から)

- ・ドクターヘリは指定場所でなくても天候が良ければ降りられる。平川市では、冬の着陸場所として指定している所はない。

(市民から)

着陸場所について、平日は葛川支所に連絡がくるが、土日はどうしているのか。

(市から)

- ・本庁舎に連絡がくるので、それを消防本部に伝えている。

(市民から)

温川地区のゆとりの駐車帯は、着陸の実績がある場所だが、指示がなければ除雪をしていない。普段から除雪をしたうえで着陸場所としたら良いのではないのか。

(市から)

- ・冬期間、ドクターヘリの着陸場所を用意することについて事例があるか調べてみる。必要であれば、普段から除雪をしてもらうなどして、いつでも着陸できるようにした方が迅速な対応につながると思う。
- ・県が除雪をしている区間になるので確認する。

○除雪開始時期について

(市民から)

市では例年12月から除雪を始める。昨年は11月に大雪が降ったが対応してもらえなかった。もっと早めに除雪体制をとってもらいたい。

(市から)

- ・業者との契約前に大雪が降った場合は、直営のロータリー車などで除雪を行っている。
- ・今年は11月20日をめどに業者と契約をする。これより前に大雪が降っても、直営のものでなるべく対応をしたい。

○善行寺平の水道について

(市民から)

善行寺平にある、沢の水を貯めているタンクが老朽化しており、いつ漏水するか分からない状況にある。近いうちに限界をむかえると思われるので、その時がきたら市にお願いをしたい。

(市から)

- ・生活用水、農業用水どちらに使用しているものなのか現場確認をする。

○ガードレールの補修について

(市民から)

北山自動車販売前にある交差点のガードレールが壊れており、冬になると危険なので直してほしい。

(市から)

- ・降雪前に直したいと思う。

○不法投棄に対する防犯カメラの設置について

(市民から)

集会所の掃除に行ったら不法投棄物があった。不法投棄をされやすい場所に防犯カメラの設置をお願いできないか。

(市から)

- ・現場を確認する。不法投棄が多い場所にカメラを設置しているところもあるので、場所を見たうえで検討したい。カメラ設置による一定の効果はあるようだ。

(市民から)

広報で不法投棄抑制の記事を掲載することはできないのか。

(市から)

- ・掲載する予定でいる。

○人口減少と財政負担に対する市の考え方について

(市民から)

東部地区では過疎化が進んでいる。人口の推移が予想できたにも関わらず、現在閉校している2つの小中学校を建てたのは無駄だったのではないか。また、新しいものにはお金がかかるため、古くなったものを直して使うべきだと思うが、市としてはどのように考えているのか。

(市から)

- ・市全体の人口は年々減っており、合併当初の約36,000人から現在は32,000人をきった。東部地区は特に減少率が大きく、高齢化率も高い。市としては、子育て支援や住宅支援など効果的な対策をして、何とか人口減少を食い止めようとしている。その結果として、転入してくる世帯も多く、一定の効果は得ていると考えている。
- ・2つの小中学校の建設にあたっては、当時、地域からの強い要望があったため行ったと思う。今後は無駄なものを建てないよう十分注意しながら事業を進めていきたい。
- ・あるものを修理しながら使うことは大事である。修理した場合と新築した場合とを比較検討し、地元の要望も聞きながら、どちらが良いのか判断していきたい。

(市民から)

市町村間での人口の奪い合いがおきている。子育て支援など魅力ある地域に人口が流れているので、市でも財政的に余裕のある時に対策を講じてもらいたい。

(市から)

- ・そういった競争はあまり好ましくないと思うが、市としても人口を減少させないため、様々な支援をしている。若い人が結婚して平川市で子どもを産み育ててもらうことを目指し、結婚支援の事業にも力を入れているがなかなか実を結んでいない。今後も諦めずにこの事業を展開していきたい。
- ・何とかして人口を増やしたいと思い、首都圏の方に対して現地での移住PRや移住ツアーも行っている。ただ、市内に大企業はないので移住者にとって仕事の面では厳しいものがあるかもしれない。また、市では、一次産業に従事している方の割合が多く、そのような人が元気でなければならぬと思っている。農家が農業でご飯を食べていけるような支援もしていきたい。